



目次

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

- 交通バリアフリー推進の集いについて
- 交通バリアフリー推進の集い報告について
- 交通バリアフリー推進の集い交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

- 運転協力者リーダー養成講座（東京バディキャブ連絡会）
- 荒川区基本構想点訳版（あふネット）
- 荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み点訳版、音訳版（あふネット）
- 旅客船及び旅客船ターミナルにおけるバリアフリーに関する調査研究（（社）全国脊髄損傷者連合会）

(3) エコモからのお知らせ

- 平成15年度交通バリアフリー活動に対する助成について
- 平成15年度交通バリアフリー施設整備助成制度について
- らくらくおでかけネットの提供“福祉タクシー情報の追加”
- 第30回国際福祉機器展への展示
- 平成14年度事業報告書及び収支決算書をホームページに掲載
- 公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について
- 人事異動について

(4) 行政からのお知らせ

- 交通バリアフリー法基本構想策定状況

(5) 各種催し物のお知らせ

- 横浜市教育委員会主催実技研修会疑似体験会
- 歩行者用施策に関する国際セミナー
- 第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 TRANSED 2004
- 第18回リハビリ工学カンファレンス 介護・福祉用具と環境整備 ～制度とその活用～
- 第30回国際福祉機器展 H.C.R.2003 開催要項
- 第5回西日本国際福祉機器展

(6) その他

- 書籍に関して
- 記事募集中
- お願い（必ずお読みください。）
 - ・転送先について
 - ・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集いについて

今年度も「交通バリアフリー推進の集い」を開催することとなりました。詳細は決定しておりませんが、日時は11月14日(金)午後、場所は青少年記念オリンピック記念センターを予定しております。開催に先立ちまして皆様にご協力頂くことがあるとは思いますが、昨年同様、ご協力の程よろしくお願いいたします。

交通バリアフリー推進の集い報告について

昨年11月15日に実施しました交通バリアフリー推進の集いについて、当日実施しましたアンケート結果や、パネルディスカッションの概要をまとめました。ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

<http://www.ecomo.or.jp/>

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

昨年11月15日に実施しました交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料をご希望の方は、ご連絡ください。また、平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。また、当日配付資料もございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

運転協力者リーダー養成講座(東京バディヤブ連絡会)

移動・送迎サービスにおける一層の安全と安心の確保に向けて、「運転協力者リーダー養成講座」(全3回)を下記要領にて開催いたします。

ご承知の通り国土交通省「ガイドライン」策定にあたっては「安全性担保」が重要な位置を占めています。団体間の統一安全基準による初めての講座開催となりますので、運転協力ご経験者の皆様につきましては奮ってご参加いただきたく宜しくお願い申し上げます。

日時 第1回 5月25日(日)13:00~17:00 (終了)

第2回 6月22日(日)13:00~17:00 (終了)

第3回 7月27日(日)13:00~17:00

会場 こうべ甲南「武庫の郷」兵庫県神戸市東灘区御影塚町4-4-8

内容 第1回 第1部「講演」小池裕氏

(神戸市社会福祉協議会福祉活動部ボランティア情報センター所長)(予定)

第2部 講義と実技指導 柿久保浩次氏(関西STS連絡会事務局)

対象 各移動・送迎サービス団体の運転協力経験者(何人でも可)

参加費 連続受講(計3回)1,500円 テキスト代1,200円

毎回お一人につき500円を徴収させていただきます。

連続3回受講された方には、ご希望により「修了書」(手数料500円)を発行。

3回の受講で完結するカリキュラムですので、極力、連続受講をお願いいたします。

申込・問合せ先 阪神移動サービスネットワーク

〒657-0024 兵庫県神戸市東灘区楠丘町2-1-12 寿ボランティアグループ気付

TEL&FAX078-821-3222 E-mail idou@hanshin.forum.ne.jp

荒川区基本構想点訳版、音訳版(あふネット)

全国で取り組みが進んでいる交通バリアフリー法に基づく基本構想策定において、東京都荒川区の基本構想が平成14年3月25日に受理されました。その基本構想独自の概要版の点訳版(2冊組)、音訳版を、調査・策定作業に携わったあふネットが作成いたしました。現在、交通エコモ財団にご寄付頂きました資料を貸出ししております。ご興味のある方は、交通エコモ財団バリアフリー推進部までお問い合わせください。 FAX:03-3221-6674 E-mail:ecomomail@ecomomail.or.jp

荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み点訳版、音訳版(あふネット)

昨年度、交通バリアフリー活動に対する助成で作成されました、「荒川区交通バリアフリー基本構想・あふネットの取り組み」が点訳、音訳されました。点訳版は4冊組、音訳版は10本組となっております。

こちらの資料を貸出いたしておりますので、ご興味のある方は、交通エコモ財団バリアフリー推進部までお問い合わせください。 FAX : 03-3221-6674 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp

旅客船及び旅客船ターミナルにおけるバリアフリーに関する調査研究((社)全国脊髄損傷者連合会)

社団法人全国脊髄損傷者連合会では、車いす使用者の利用は困難と考えられている海上交通機関に着目し、旅客船及び旅客船ターミナルのバリアフリーの現状について車いす使用者の視点から調査を実施しました。調査対象は、国内の一般旅客定期航路事業に用に供する5t以上の船舶と全国の旅客ターミナルとなっています。ご興味のある方は、(社)全国脊髄損傷者連合会までお問い合わせください。

〒134-0085 江戸川区南葛西5-13-6 TEL03-5605-0871 FAX03-5605-0872

E-mail tsumaya@mx1.alpha-web.ne.jp http://www.ak.wakwak.com/~sij/

(3) エコモからのお知らせ

平成15年度交通バリアフリー活動に対する助成について

当財団は、これからの高齢社会の到来に備え、また障害者の社会参加を促進するため、高齢者や障害のある方々の移動円滑化を促進するボランティア団体等の行う交通バリアフリー活動に対して、その活動資金の一部について助成していくことにいたしました。詳細や応募方法については、当財団のホームページ(<http://www.ecomomail.or.jp/>)をご覧ください。なお、本年度は助成申請期間を、8月末までとしましたので、ご注意ください。

また、昨年の助成団体報告もホームページに併せて掲載しておりますので、ご参照ください。

平成15年度交通バリアフリー施設整備助成制度について

海上交通におけるバリアフリー化を促進するため、日本財団からの助成金を受けて、旅客船(改造・新造)並びに旅客船ターミナルの施設・設備について助成を行います。

重点項目：本年度は次の施設整備について重点的に助成します。

旅客船バリアフリー化のモデルとなるような高齢者や障害者等の移動の円滑化を総合的に講じた旅客船波及効果が期待されるバリアフリー効果の高い施設・設備

上記、は離島航路で通院、通学、通勤の足として日常的に利用する生活航路の旅客船を優先し、国費等の助成対象を除きます。

申請受付期間：平成15年6月1日～7月31日まで

助成率等：

ア) 旅客船バリアフリー化のモデルとなるようなものについては、助成対象経費の50%以内、2千万円を限度に助成

イ) 上記以外の旅客船については、助成対象経費の20%以内、1千万円を限度に助成

ウ) 旅客船ターミナルについては、助成対象経費の20%以内、1千万円を限度に助成

お問い合わせ先：交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部 菅井

TEL:03-3221-6673 E-mail:h-sugai@ecomomail.or.jp

らくらくおでかけネットの提供 ”福祉タクシー情報の追加”

現在、インターネット、携帯端末を通して、高齢者や障害のある方々が最寄りの駅から目的地の駅まで、公共交通機関を円滑に、快適に移動できるよう駅構内のバリアフリー施設、乗り換え案内等のバリアフリー情報を提供していますが、今回、全国福祉タクシー輸送サービス協会の協力を得て、これまでの駅ターミナル情報、乗り換え情報、運行情報等に、新たに福祉タクシー情報を追加しました。

現在、この福祉タクシー情報は、総合版を掲載していますが、今年の9月頃には、個々の駅単位で、最寄りの福祉タクシーが検索できるようになる予定です。

また、このらくらくおでかけネットは、平成14年1月25日より、本格運用しており、平成15年3月31日現在で、鉄道駅3,598駅、空港74、バス153、旅客船437ターミナルの情報を提供しており、14年度の1日平均アクセス件数は、1,707件でしたが、最近1週間のアクセス件数は、2,789件と大きく増加しています。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。

なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomomail-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版 = i-mode, j-sky) <http://www.ecomomail-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

第30回国際福祉機器展への展示

来る10月15日(水)~17日(金)東京ビッグサイトにおいて、第30回国際福祉機器展H.C.R.2003が下記の通り開催されます。ハイテク化やIT化といった技術革新や研究開発により、高齢者や障害者の日常生活や社会参加を促進する福祉機器は、重要な役割を担い、大きな期待が寄せられています。今回、世界の福祉機器が総合展示され、年々拡大している同展示会に、高齢者や身体障害者等の移動に関わる分野(交通バリアフリー関連)として、当財団も出展することにいたしました。

また、16日は同会場で、「日本の高齢者・障害者配慮施策の現状と今後の方向」と題して、バリアフリーに関係する8団体が協力して、アクセシブル・デザイン・フォーラムを開催する予定となっています。フォーラムの内容は、日本の高齢者・障害者配慮施策を国内外に啓発していくこととして、ルールづくりから研究開発に至るまで幅広い分野を対象としています。

分野別では、住宅のバリアフリー、交通バリアフリー、情報バリアフリー、製品バリアフリー、研究開発とあり、それぞれの分野の専門家がスピーカーをつとめます。

なお、このフォーラムはISO/IECガイド71の関係機関COPOLCO(消費者政策委員会)の欧州で開催される「Accessibility for ALL」と姉妹関係のあるフォーラムとなります。

平成14年度事業報告書及び収支決算書をホームページに掲載

平成14年度も皆様のご協力で良い事業が沢山できました。15年度もよろしくお願いたします。14年度の事業報告を当財団ホームページ(<http://www.ecomo.or.jp/>)で掲載しております。何かご意見がありましたら、お寄せください。 E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

「公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアル」を公開しておりますが、本評価マニュアルは、あくまでも地域のボランティア、市民グループ、学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時(地域の基本構想作成時などが考えられます)にお役立ていただく方法として、提供させていただいておりますので、ご自由にお使いいただければと思います。なお、鉄道事業者等との対応に際しましては、エコモから依頼しているものではありませんので、誤解のないよう、よろしくお願いたします。

人事異動について

当財団の理事長が交替しました。新理事長は、淡路 均(あわじ ひとし 前関東運輸局長)です。その他の人事異動は、バリアフリー推進部理事 森谷 健二(もりや けんじ 前日本政策投資銀行松山事務所長)、総務部長兼鉄道駅公共事業部長 水信 弘(みずしな ひろし 前国土交通省総合政策局交通消費者行政課バリアフリー対策室長)です。

(4) 行政からのお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況

基本構想を作成済みの市区町村 69市区町村

福岡県福岡市、北海道室蘭市、広島県呉市、千葉県千葉市、山梨県石和町、大阪府守口市、鳥取県鳥取市、新潟県亀田町、大阪府交野市、大阪府八尾市、千葉県船橋市、北海道千歳市、大阪府堺市、福岡県大牟田市、東京都荒川区、富山県小杉町、福岡県福岡市、兵庫県明石市、香川県丸亀市、石川県金沢市、北海道恵庭市、埼玉県熊谷市、神奈川県相模原市、滋賀県守山市、大阪府河内長野市、広島県広島市、神奈川県秦野市、福岡県北九州市、大阪府豊中市、長崎県佐世保市、京都府長岡京市、長崎県長崎市、長野県諏訪市、岐阜県各務原市、岐阜県可児市、神奈川県藤沢市、千葉県柏市、福岡県古賀市、静岡県静岡市、大阪府東大阪市、富山県魚津市、千葉県袖ヶ浦市、大阪府阪南市、兵庫県宝塚市、兵庫県神戸市、東京都羽村市、東京都北区、新潟県新潟市、愛知県春日井市、静岡県焼津市、大阪府柏原市、大阪府大阪狭山市、大阪府茨木市、新潟県長岡市、愛知県名古屋市、大阪府藤井寺市、北海道遠軽町、東京都千代田区、三重県津市、宮城県仙台市、大阪府堺市(2)、鹿児島県鹿児島市、大阪府八尾市(2)、東京都武蔵野市、岐阜県穂積町、埼玉県深谷市、大阪府吹田市、東京都八王子市、大阪府柏原市(2)、北海道札幌市、兵庫県姫路市、山口県菊川町

詳細に関しては、国土交通省のホームページをご覧ください。

(5) 各種催し物のお知らせ

横浜市教育委員会主催教育実技研修会疑似体験会

学校教育の中に美術とデザイン融合による次世代の市民としての人づくりを目指す取り組みとして、横浜国立中学校の美術の先生方約20名が、公共生活環境における障害者・高齢者の疑似体験を行います。今後の総合教育の一環として、中学生に履修させるために、新しい視点に基づく教育の参考とするため、体験を通して、先生方にその意義と必要性を理解させるものです。学校におけるこれからの美術教育において、個を育てると同時に、個と社会との関わり、人と人の関わりを教育に取り入れることを目標としています。

日時：平成15年8月8日(金)9時30分～16時30分

場所：横浜桜木町・関内駅並びに近辺の公共施設・観光施設

お問い合わせ：(社)かながわデザイン機構横浜地区協議会 教育・文化WG

リーダー 佐藤俊夫 TEL045-440-3201

歩行者用施策に関する国際セミナー

お申込みは財団法人 道路経済研究所までお願いします。

主催：(財)道路経済研究所

日時：平成15年7月31日(木)14時00分～16時30分

場所：東海大学校友会館三保の間(霞ヶ関ビル33F) 千代田区霞ヶ関3-2-5 TEL 03-3581-0121

a. 地下鉄銀座線虎ノ門駅 5番出口より徒歩2分

b. 地下鉄日比谷線・千代田線霞ヶ関駅A13番出口より徒歩5分

c. 地下鉄丸の内線霞ヶ関駅 A4出口より徒歩8分

地図は下記URLにてご確認ください。http://www.tokai33.co.jp/access.html

内容：講師：リン・スーエン女史(アクセシブル・トランスポーテーション国際センター事務局長)

14:00 開会・講師紹介

14:05～15:00 基調講演(約1時間) <逐次通訳>

15:10～15:20 コーヒーブレイク(15分)

15:20～16:20 質疑応答(約1時間)

16:20～16:30 まとめ

申込み：下記までFaxで、お名前、所属、住所、電話(fax)、e-mailをご記入頂き、7/28(月)までにお申し込み下さい。(ただし参加申込者多数の場合は定員となり次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい)

お問合せ先：財団法人 道路経済研究所 東京都千代田区九段北1-12-6 守住ビル4F TEL03-3234-4592

第10回高齢者・障害者のモビリティと交通に関する国際会議 TRANSED 2004

日程：平成16年5月23日(日)～26日(水)

場所：浜松市 アクトシティ浜松(JR浜松駅より徒歩3分)

主催：(社)土木学会、TRANSED 2004 実行委員会 http://transed.jp/

共催：Transportation Research Board, USA

後援：国土交通省、静岡県、浜松市、DPI 日本会議、日本盲人会連合、日本建築学会、

日本福祉のまちづくり学会、(財)国土技術研究センター、交通エコロジー・モビリティ財団他

お問い合わせ先：〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7 秀和紀尾井町 TBRビル 808

交通エコロジー・モビリティ財団 沢田

tel:03-3221-6673 fax:03-3221-6674 E-Mail: info@transed.jp、d-sawada@ecomio.or.jp

第18回リハビリ工学カンファレンス 介護・福祉用具と環境整備 ～制度とその活用～

リハビリ工学カンファレンスでは、障害のある方のリハビリテーションを支援する機器や技術について、リハビリテーションに関係するさまざまな分野の参加者が互いに理解できる言葉で討論し、実りある情報交換をすることを目的としています。

障害のある方、工学・医学・福祉・教育・行政などの関係分野の方だけでなく「リハビリテーションのための工学技術の応用」について興味をお持ちの方は、ぜひご参加ください。

なお、このカンファレンスはリラックスした雰囲気での討論することを大切にしていますので、気軽な服装でご参加ください。

開催日：平成 15 年 8 月 28 日（木）～8 月 30 日（土）

なお、カンファレンスの前後に日本リハビリテーション工学協会各 SIG 主催の講習会が予定されています。

会 場：栃木県総合文化センター 栃木県宇都宮市本町 1-8

（JR 宇都宮駅よりバス利用で約 10 分）（東武宇都宮駅より徒歩 5 分）

主 催：日本リハビリテーション工学協会

お問い合わせ：第 18 回リハ工学カンファレンス事務局 <http://www.iuhw.ac.jp/jcaart18/>

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸 2600-1

TEL 0287-24-3145 FAX 0287-24-1347 E-mail jcaart18@iuhw.ac.jp

第 30 回国際福祉機器展 H.C.R.2003 開催要項

期 日：平成 15 年 10 月 15 日（水）～17 日（金）【3 日間】

開場時間：午前 10 時～午後 5 時

会 場：東京国際展示場「東京ビッグサイト」東展示ホール（東京都江東区有明 3-21-1）

入 場 料 無 料

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

後援（予定）：厚生労働省 経済産業省 総務省 東京都 海外参加国大使館

協賛（予定）：（順不同）みずほ教育福祉財団、キリン福祉財団、清水基金、みずほ福祉助成財団、松翁会、丸紅基金、三菱財団、損保ジャパン記念財団、NHK 厚生文化事業団、読売光と愛の事業団、毎日新聞東京 社会事業団、産経新聞大阪新聞厚生文化事業団、日本経済新聞社、東京新聞、東京新聞社会事業団、福祉新聞社、日本赤十字社、社会福祉・医療事業団、鉄道弘済会、東京都社会福祉協議会、全国心身障害児福祉財団、長寿社会開発センター、シルバーサービス振興会、テクノエイド協会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本アビリティーズ協会、日本障害者リハビリテーション協会、日本リハビリテーション医学会、新エネルギー・産業技術総合開発機構

お問い合わせ：国際福祉機器展 H.C.R. 2003 主催事務局 財団法人 保健福祉広報協会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798 <http://www.hcr.or.jp/>

第 5 回西日本国際福祉機器展

日 程：平成 15 年 11 月 13 日（木）～15 日（土）

場 所：西日本総合展示場本館大展示場 JR 小倉駅北口 5 分

参加料：入場無料

主催：西日本国際福祉機器展実行委員会、（財）西日本産業貿易見本市協会

お問い合わせ・お申し込み 西日本国際福祉機器展事務局

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野 3-8-1 TEL093-511-6848 FAX093-521-8845

<http://www.nishiten.or.jp/fukushi/> E-mail: fukushi@nishiten.or.jp

（6）その他

書籍に関して

交通エコモ財団では、現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページをご覧ください。

http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html

記事募集中！

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、エッセイ等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールか FAX でお送りください。

エッセイに関しましては、誠に申し訳ありませんが、掲載するか否かは編集担当に一任頂き、謝礼なし、とさせていただきます。

E-mail: ecomomail@ecomomail.or.jp FAX: 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンを発刊してから、多くの方からお申し込みを頂いております。ありがとうございます。おそらく、お読み頂いている方から、更にその他のネットワークに転送して頂いていることがあると思います。現在、どの様な所まで、このメールマガジンをお読み頂いているかを把握したいと考えております。転送して頂いている方は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp FAX : 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべく E-mail で送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp FAX : 03-3221-6674

コラム

前記の通り、我がエコモは4月、7月と大きな人事異動がありました。また、大変お世話になり、「百の議論より一つの実行」とご指導頂き、積極的にバリアフリーに取り組まれた国土交通省の交通消費者行政課室谷課長も異動されました。エコモの発展のため、大変ご尽力頂き深く感謝を申し上げます。

あっ、そうそうエコモは来年で設立 10 周年を迎えます。新しい団体と思いつつ仕事をしてきて早 10 年です。この間いろいろな方にお世話になり、エコモを盛り立てて頂きました。厚くお礼申し上げます。しかし、まだ 10 歳の少年ですからこれからも末永くお付き合いとご指導をお願いいたします。

今年は梅雨が長引き、体調を崩していませんか？たまには海とか山とかいってリフレッシュしてください。(そのときは、旅先のバリアフリーを見てきて、教えてくださいね。)